

多核種除去設備 吸着塔 15, 16 塔目吸着材排出ラインから堰内 への滴下事象

2016年10月27日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

概要及び時系列

TEPCO

■概要

- 多核種除去設備共通系統の吸着塔15,16塔目の使用済み吸着材排出ラインから滴下を確認。
- 滴下した水は多核種除去設備の堰内に留まっており、建屋外への漏えいには至っていない

■時系列

【10/17】

- 16:20頃 協力企業社員が多核種除去設備 A 系の吸着塔近傍において、配管保温材からの滴下及び溜り水（約20cm×約10cm×深さ約1mm）を 2 箇所に確認。滴下の頻度は20秒に1滴程度
- 16:35頃 滴下箇所（2 箇所）に対して水受け養生を実施
- 17:37頃 保温材を外して配管の状況を確認したところ、配管のエルボ部 1 所のにじみを確認。その後、にじみの確認された箇所に対し応急処置としてテーピングを実施

【10/18】

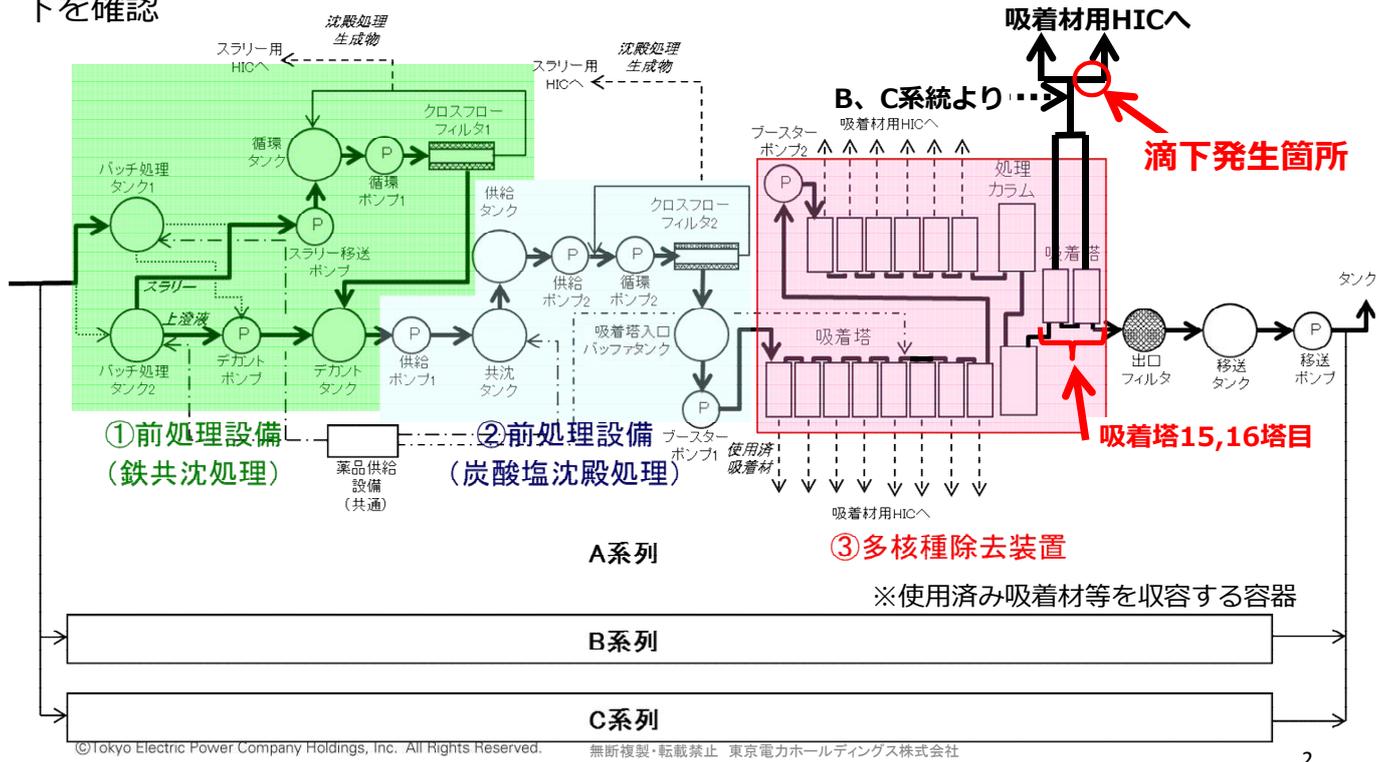
- 10:40頃 テーピング箇所からの滴下及びにじみがないことを確認
- 12:30頃 当該配管内の水抜きを実施

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

■滴下発生箇所

A～C系統の吸着塔15,16塔目から使用済み吸着材をHIC※へ排出するラインにて滴下を確認



滴下箇所の状況

■滴下箇所の状況

- 滴下は配管エルボ部 (SUS316L) より発生 (1箇所)
- 当該ラインは使用済み吸着材の排出時に使用するラインであり、事象確認時は吸着材の排出を行っていなかったものの、配管内には水が残留していた状態
- 当該溶接部に対する点検実績はなし



滴下発生箇所の状況 (保温材取外し後)

■ 応急処置の状況

- 当該箇所に対し応急処置として自己融着テープを取付け、滴下及びにじみのないことを確認
- 空気圧による漏えい確認を実施し、当該配管を用いた吸着材排出を可能な状態であることを確認済み



今後の予定

■ 今後の予定

- 当該箇所における滴下発生の原因調査及び類似箇所に対する調査要否について検討
- 当該配管については、フレキ管（EPDM）に交換を検討中

10	11	12	1
▼10/17 事象確認 ▼10/25 応急処置後漏えい確認実施 原因調査・類似箇所調査要否検討			
材料手配		配管交換	

☁️ 詳細調整中